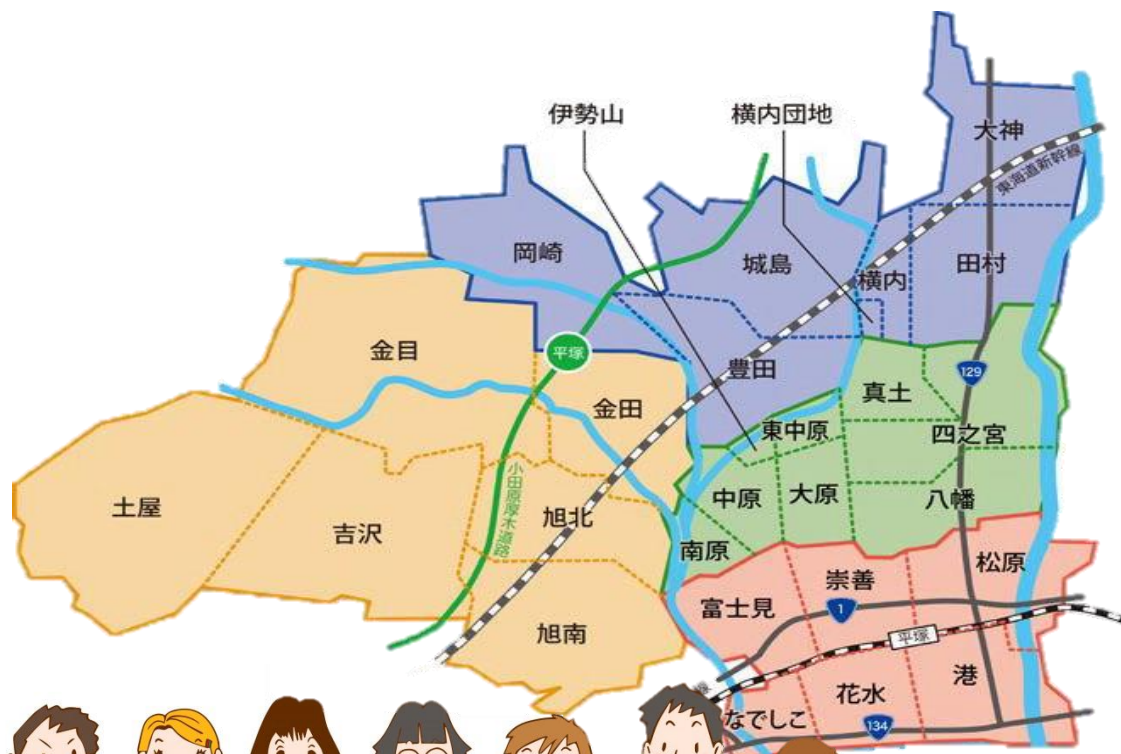




子どもの居場所づくりを考える

社会教育における子どもたちの生きる力を育む方策について



Preciousness

「より良い子どもの居場所づくり」
「地域コミュニティの活力（地域力）向上」には、
大人に対しての啓発が大切である。

子どもの居場所づくりに繋がる活動

より良い
子どもの居場所

幅広い人材が協働・共助
地域全体を巻き込んで継続し発展
社会資源を効果的に活用
様々な経験・知識を得る機会

大人たちにとって意義が大きい

- ▶ 安心して子育てができるまち
選ばれるまち
- ▶ 地域全体が子ども達に
関わっている社会

きさわ 吉沢寺子屋

地域にある大学の学生の協力による放課後等の学習支援とスポーツ活動。異世代交流や社会性の健全育成に対する仕組みづくりを行う



おもしろ理科教室(中原)

子ども達の興味をひくような工作や実験を通して、理科の面白さを感じられる機会を創出する



港スポーツクラブ

カヌー、スポーツクライミングなどの様々なスポーツ活動をする場の提供



横内マイタウンスクール

文化系・スポーツ系・ものづくり系のスクールを開催し、技術の向上、世代間交流、様々な体験と経験の場



人 + 場
活動の継続・発展

「継続性」と「発展性」があるところは、
子ども達が地域の人々と繋がって育まれている。
さらに「人：活動していく担い手」と
「場：地域全体を機能化していく知恵・工夫」の充実は、
子どもの生きる力を育む「より良い居場所づくり」が
継続・発展され、地域力が高められている。

エコミュージアム金目まるごと博物館共催 子ども向け事業

ホテルの観察などの自然や地域の風土・文化の特色を学ぶ催しから、地域の自然や文化の魅力に触れ、自然の大切さや関心を持つ



やわたこども村

卓球・囲碁将棋などの放課後プログラム。長期休暇にはコンサートなど親子参加できる催しを開催



VALUES!

選ばれるまち、 住みたいまち 住み続けたいまち



平塚市は「選ばれるまち」となるために様々な施策に取り組んでいます。優れた地域コミュニティ：地域力を備えていることは、安心安全な子育てができることにつながります。また、「住みたいまち 住み続けたいまち」となるには、優れた地域コミュニティ：地域力を構築していくことが重要になります。

POINT!

地域コミュニティの活力 ：地域力

効果的な「子どもの居場所づくり」のためには地域の「人」と「場」が大いに活躍していることが望めます。そしてその地域では、健全で活性化された地域コミュニティの活力：地域力の姿が思い起こされます。

孤立社会・無縁社会が進む現代社会において、子どもの居場所・子ども達の生きる力を育むための活動は、単に子ども達のためだけでなく地域社会・現役世代の大人達にとっても、大きな社会的意義がある活動となります。さらに、大人も「子どもの居場所」での活動を通じ、社会性・相互扶助の意識を強め、人とのつながり・コミュニティづくりを学ぶことに繋がります。

CHECK!

子どもを核に 関わり合う役割

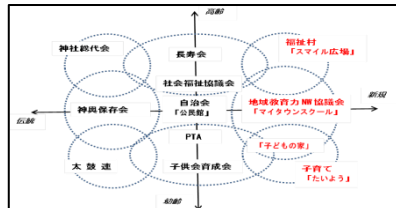
社会教育委員会議の今期のテーマは「子どもの居場所づくり」ではありますが、視点を子どもだけに限定してしまうことなく、子どもを核とした地域の触れ合いにまでビジョンを拡げていくことができると考えました。

子どもから高齢者まで、それぞれが互いに関わり合う役割を担っていること、それが地域コミュニティの活力：地域力の支柱であり、これからの社会教育が目指す一つの理想といえるでしょう。



横内マイタウンスクール

安心して子育てのできる環境づくり(子どもの居場所づくり)を基軸に、高齢世代はじめ多世代が協働、共助の精神で、わが町を元気にする活動や場づくりに参画し、「住み続けたいまち」、「選ばれるまち」づくりに貢献していく。



子ども達の成長、社会教育デビューに対応した 市民力・地域力を育む

- ☆自主性、自律性から社会性・市民性を高める
- ☆保護者自身の成長、社会性を磨く・高める

地域の「活かせる人材」、「活かせる空間」の拡大

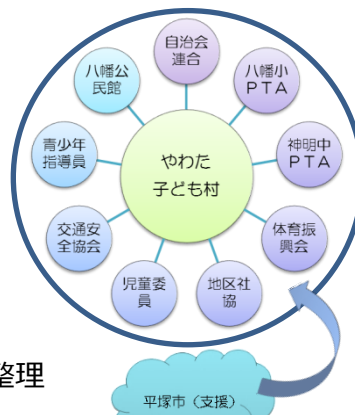
- ☆大人の地域デビューの場（活かせる人材）
- ☆活動の場所・施設の再発見と活用・地域管理（活かせる空間）

横内地区と 八幡地区から 見えてきたもの

やわたこども村

- ・地域で暮らす全ての人々が、心身共に健康な体を維持できる環境づくり
- ・大人と大人、子どもと大人が“集い学べる”居場所づくり

- ▶ 要は『人』
人的ネットワークの活用
- ▶ 人・もの・こと
地域資源の活用
- ▶ 事務局は重要
合意形成の場づくり
- ▶ 課題を明確に
できること・できないことの整理



ゆるやかな支援体制が継続の秘訣

- ☆未来を担う子ども達の育ちを地域全体で支える
⇒次世代へと繋がる地域づくり

平塚市（支援）



広めたい、各
 役立ててほしい、各
 地区にこれまで以上
 に積極的に。
 子どもの居場所づくりと地域づくりに。

CHECK!

組織力を地域力に

中面で紹介した事例では、地域の諸団体・組織が連携して新たな仕組みづくりをし、世代を超えた関係者が、目的意識を共有しつつ、コーディネーター：企画、マネージャー：運営、プレイヤー：実践といった役割を分担しながら取り組んでいます。その結果、斬新でユニークな企画と実効性・持続性のある活動が展開されています。これがまさに組織力です。この組織力は、「子どもの居場所づくり」を通して、「組織」「世代」「役回り」といった「協働」のために必要な3つの力の繋がりを再構築し、これまでの仕組みにとらわれない新しい「地域コミュニティの活力：地域力」に変えていくことになるでしょう。



POINT!

想い・価値の共有



組織といっても、ただ形式化されたものが組織ではありません。地域の人と人・団体と団体が共通した“想い・価値”で繋がるという関係性ができることで、地域コミュニティの活力：地域力が向上し、事業が円滑に実施できるような組織の事です。組織は外枠を作るだけでなく、内側で実際に動く人材の活性化も図られなければ、形骸化された活動に終始してしまふでしょう。「横内マイタウンスクール」や「やわた子ども村」の実践を見ても、中核となる大人達が活動の“想い・価値”を明確にし、組織全体、子ども達、地域等を巻き込んだ活動にしようとして取り組んでいます。

もし、“想い・価値”が共有されないまま活動が展開されたならば、成果：やり甲斐に繋がりにくく、組織のモチベーションの維持や充実感も得難くなってしまふことが懸念されます。

VALUES!

**場づくりからの
 地域力の向上**



大人が、「子どもの居場所づくり」についての社会教育的な意義・観点に立って、しっかりしたビジョンを構築し、継続的・発展的な活動を推進していくことが肝要です。大人に対しての啓発が充足することが、より良い「子どもの居場所づくり」、ひいては「地域コミュニティの活力（地域力）向上」に重要な役割を果たすと考えられます。

理想的な地域コミュニティによる「子どもの居場所づくり」は一朝一夕に醸成できるものではありません。しかし「子どもの居場所づくり」のブレない想いを地域の大人達が共有することで、確実な歩みが期待できるのではないのでしょうか。

結束するために必要なのが「想い」(意味や価値)であるならば、より多くの人がある「想い」を共有し、次々と参加できる「場」を用意・整備していくことで、地域の人の繋がりは強くなり、地域コミュニティの活力：地域力を一段と高めることができるでしょう。



■ 発行者
 平成26,27年度 平塚市社会教育委員会議
 ■ 発行日
 平成28年3月

■ 事務局
 平塚市教育委員会 社会教育部 社会教育課
 〒254-8686
 神奈川県平塚市豊原町2番21号
 電話：0463-35-8123
 F A X：0463-34-5522
 E-mail: k-shakai@city.hiratsuka.kanagawa.jp

